



国立医薬品食品衛生研究所(NIHS) 医薬安全科学部

NIHS 医薬品安全性情報 Vol.24 No.21 (2026/10/15)

目 次

各国規制機関情報

【NZ MEDSAFE (New Zealand Medicines and Medical Devices Safety Authority)】

- Prescriber Update Vol.47 No.3
 - Prednisone: 薬剤性の甲状腺中毒性周期性四肢麻痺(TPP) 2
 - ADHD治療用中枢神経刺激薬: 眼の有害作用 5

過去のNIHS医薬品安全性情報

<https://www.nihs.go.jp/dig/sireport/index.html>

新型コロナウイルス感染症治療薬・ワクチン等の臨床試験/研究に関する文献情報

<https://www.nihs.go.jp/dig/covid19/index.html>

「NIHS 医薬品安全性情報」は、医薬安全科学部が海外の主な規制機関・国際機関、医学文献等からの医薬品に関わる安全性情報を収集・検討し、重要と考えられる情報を翻訳または要約したものです。

['○○○']の○○○は当該国における販売名を示し、医学用語は原則としてMedDRA-Jを使用しています。略語・用語の解説、その他の記載については<https://www.nihs.go.jp/dig/sireport/weekly/tebiki.html>をご参照ください。

※本情報を参考にされる場合は必ず原文をご参照ください。本情報および本情報にリンクされているサイトを利用した結果についての責任は負いかねますので、ご了承ください。

各国規制機関情報

Vol.24 (2026) No.21 (10/15) R01

【NZ MEDSAFE】

●Prednisone: 薬剤性の甲状腺中毒性周期性四肢麻痺 (TPP)

Prednisone-induced thyrotoxic periodic paralysis

Prescriber Update Vol.47 No.3

通知日: 2026/09/03

<https://www.medsafe.govt.nz/profs/PUArticles/September2026/Prednisone-induced-thyrotoxic-periodic-paralysis.html>

<https://www.medsafe.govt.nz/profs/PUArticles/PDF/Prescriber-Update-47-No.3-September-2026.pdf>

◇重要なメッセージ

- 甲状腺機能亢進症の患者では、カリウムが細胞内へ急激に取り込まれることにより甲状腺中毒性周期性四肢麻痺 (TPP) が発現することがある。
- Prednisoneは、低カリウム血症を誘発する可能性がある。したがって、prednisoneによる治療を受けている甲状腺機能亢進症患者が筋力低下の徴候・症状を呈した場合は、TPPの発現を疑うこと。



最近、prednisoneのデータシートが改訂され、甲状腺中毒性周期性四肢麻痺 (TPP) に関する警告が追加された¹⁾。本稿では、TPPについて、またTPPの発現にprednisoneがどのように関与するかについて記載する。

◇甲状腺中毒性周期性四肢麻痺 (TPP) とは

TPPは、カリウムの急激な細胞内移行による筋力低下や低カリウム血症の反復発作を特徴とする甲状腺機能亢進症の合併症である。TPPを未診断・未治療のまま放置すると、心室性不整脈、呼吸不全など重篤な臨床的転帰につながる可能性がある³⁾。

TPPは主としてアジア系の男性にみられるが、欧米諸国でも報告されることが多くなっている^{2,3)}。ニュージーランドの1つの研究では、ヨーロッパ系の患者と比較して、ポリネシア系の患者においてTPPの発生頻度が高いという結果が示された⁴⁾。

◇TPPの病態生理

TPPは、 Na^+/K^+ -ATPase (ナトリウム・カリウムATPase) ポンプ活性の亢進により生じると考えられており、この酵素活性の上昇により、循環血中のカリウムの多くが筋肉内へ移行して血中濃度が低下する^{2,3)}。筋細胞膜の過分極により筋肉の興奮性が低下し、麻痺が生じる²⁾。 Na^+/K^+ -ATPase活性の上昇は、甲状腺ホルモンの増加およびそれに伴う β アドレナリン受容体応

答によって誘発される^{2,3)}。

発作は通常、糖質過多な食事の摂取や激しい運動の数時間後に起きる。これらの誘発因子は Na^+/K^+ -ATPaseポンプの活性を刺激し、循環血中から筋肉へのカリウムの取り込みを促進させる^{2,3)}。

◇PrednisoneはTPPを誘発する可能性がある

Prednisoneは低カリウム血症を誘発し、それがTPPを引き起こす可能性がある。したがって、prednisoneによる治療を必要とする甲状腺機能亢進症の患者は、TPPを発現するリスクがある¹⁾。

◇治療

TPPが疑われる場合は血中カリウム値をモニタリングし、低カリウム血症をみとめた際には補正すること¹⁾。再発を防ぐため、甲状腺機能亢進症の適切な症状管理を徹底すること^{2,3)}。甲状腺中毒症ではβアドレナリン受容体応答が亢進しているため、補助療法として非選択的β遮断薬 (propranolol など) を用いることができる^{2,3,5,6)}。

文献および関連資料

- 1) Clinect NZ Pty Limited. *Prednisone (Clinect) New Zealand Data Sheet* 23 February 2026.
URL: <https://www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/a/Apoprednisonetab.pdf> (accessed 15 July 2026).
- 2) Kung AWC. 2006. Clinical review: Thyrotoxic periodic paralysis: A diagnostic challenge. *The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism* 91(7): 2490-95. DOI: 10.1210/jc.2006-0356 (accessed 15 July 2026).
- 3) Lin SH. 2005. Thyrotoxic periodic paralysis. *Mayo Clinic Proceedings* 80(1): 99-105. DOI: 10.1016/S0025-6196(11)62965-0 (accessed 15 July 2026).
- 4) Elston MS, Orr-Walker BJ, Dissanayake AM, et al. 2007. Thyrotoxic, hypokalaemic periodic paralysis: Polynesians, an ethnic group at risk. *Internal Medicine Journal* 37(5): 303-07. DOI: 10.1111/j.1445-5994.2007.01313.x (accessed 15 July 2026).
- 5) Teva Pharma (New Zealand) Limited. *Drofate New Zealand Data Sheet* 26 March 2024.
URL: <https://www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/d/drofatetab.pdf> (accessed 15 July 2026).
- 6) Ipca Pharma (NZ) Pty Limited. *Ipca-Propranolol New Zealand Data Sheet* 1 June 2023.
URL: www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/I/IpcaPropranololtab.pdf (accessed 15 July 2026).

薬剤情報

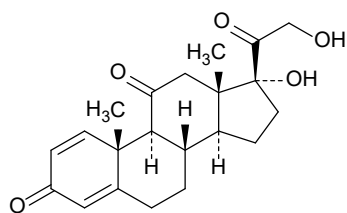
◎Prednisone〔副腎皮質ホルモン〕海外：発売済

※Prednisoneは主として肝で急速にprednisoloneに変換されて活性を示す。

◎Propranolol〔プロプラノロール塩酸塩, Propranolol Hydrochloride (JP), β 遮断薬, 高血圧治療薬〕国内：発売済 海外：発売済

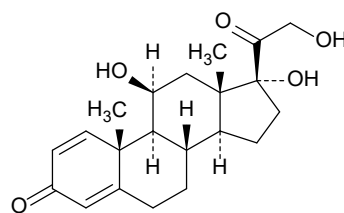
参考

○Prednisolone〔プレドニゾロン (JP), プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム, Prednisolone Sodium Succinate (JP), メチルプレドニゾロン, Methylprednisolone (JP), メチルプレドニゾロン酢酸エステル, Methylprednisolone Acetate, メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム, Methylprednisolone Sodium Succinate, 副腎皮質ステロイド〕国内：発売済 海外：発売済

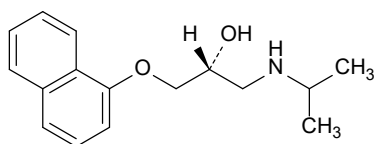


Prednisone

参考)



Prednisolone



Propranolol

Vol.24 (2026) No.21 (10/15) R02

【NZ MEDSAFE】

●ADHD治療用中枢神経刺激薬:眼の有害作用

Ocular adverse effects of stimulant medicines for ADHD

Prescriber Update Vol.47 No.3

通知日:2026/09/03

<https://www.medsafe.govt.nz/profs/PUArticles/September2026/Ocular-adverse-effects-of-stimulant-medicines-for-ADHD.html>

<https://www.medsafe.govt.nz/profs/PUArticles/PDF/Prescriber-Update-47-No.3-September-2026.pdf>

◇重要なメッセージ

- 注意欠如・多動症 (ADHD) 治療の適応を有する中枢神経刺激薬の使用に関連して、眼圧上昇、緑内障、ドライアイなどの眼の有害作用が報告されている。
- 眼圧上昇または緑内障の既往がある患者、または急性閉塞隅角緑内障のリスクがある患者では、治療開始前の慎重な評価と治療中の継続的なモニタリングが必要である。
- 視覚障害またはその他の視覚変化がみられた場合には、速やかに報告するよう患者に助言すること。



注意欠如・多動症 (ADHD) の治療に用いられる中枢神経刺激薬には、methylphenidate, lisdexamfetamineおよびdexamfetamineがある^{1,4)}。本稿では、これらの医薬品に関連する眼の有害作用を取り上げる。

◇眼の有害作用

ADHD治療の適応を有する中枢神経刺激薬の使用に関連して、眼圧上昇、緑内障、ドライアイ、その他の眼の有害作用が報告されている^{1,4)}。

緑内障とは、進行性の視神経障害を特徴とする眼疾患群を指す。通常は眼圧上昇を伴い、不可逆性の失明の主要な原因の1つである⁵⁾。Methylphenidateによる治療に関連する眼圧上昇および緑内障の症例は、海外で複数報告されている^{1,2)}。

Methylphenidateに関連して、急性閉塞隅角緑内障^Aも報告されている。急性閉塞隅角緑内障は、眼球から房水(硝子体液)が排出される正常な経路の閉塞により、眼圧が急激に上昇して発症する⁶⁾。急性閉塞隅角緑内障は医療上の緊急事態であり、霧視、明るい光の周囲に見える虹色の暈(虹輪視)、悪心および嘔吐を伴って、重度の片側性眼痛または頭痛が突然発現する⁶⁾。強度の遠視患者には、急性閉塞隅角緑内障のリスクがある^{1,2)}。

ドライアイは、methylphenidate, lisdexamfetamineに関連して報告されている。ドライアイの症状に

^A acute angle-closure (AAC) glaucoma

は、眼刺激、眼の異物感、眼の発赤、霧視、眼の不快感などがある⁷⁾。

Methylphenidate, lisdexamfetamine dexamfetamineに関連して報告されているその他の眼の有害反応には、複視、調節困難、霧視、散瞳がある¹⁻⁴⁾。

眼圧上昇もしくは緑内障の既往がある患者、または急性閉塞隅角緑内障のリスクがある患者については、当該医薬品のデータシートの推奨事項を参照すること^{B)}。

視覚障害またはそのほかの視覚変化が生じた場合には速やかに報告するよう、患者に助言すること⁸⁾。

◇ニュージーランドにおける症例報告

2010年1月1日～2026年5月31日の間に、ニュージーランドファーマコビジランス・データベースは、中枢神経刺激薬に関連する眼障害の症例報告5件を受領した。

- Methylphenidate関連の報告：霧視3例^{C)}、散瞳1例^{D)}
- Dexamfetamine関連の報告：霧視1例^{E)}

文献および関連資料

- 1) Novartis New Zealand Limited. 2026. *Ritalin and Ritalin LA New Zealand Data Sheet* 29 January 2026. URL: www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/r/RitalintabSRtabLAtab.pdf (accessed 20 July 2026).
- 2) Janssen-Cilag (New Zealand) Ltd. 2026. *Concerta Tablet New Zealand Data Sheet* 27 January 2026. URL: www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/c/Concertatab.pdf (accessed 20 July 2026).
- 3) Takeda New Zealand Limited. 2026. *Vyvanse Capsule New Zealand Data Sheet* 4 June 2026. URL: www.medsafe.govt.nz/profs/Datasheet/v/vyvansecap.pdf (accessed 20 July 2026).
- 4) Pharmacy Retailing (NZ) Limited. 2026. *Aspen Dexamfetamine Tablet New Zealand Data Sheet* 16 March 2026. URL: www.medsafe.govt.nz/profs/datasheet/a/AspenDexamfetaminetab.pdf (accessed 27 July 2026).
- 5) Jannini TB, Alisi L, Giovannetti F, et al. 2026. The effect of psychotropic medications on glaucoma risk and intraocular pressure: A Bayesian meta-analysis. *CNS Drugs* 40(3): 451–466. DOI:10.1007/s40263-025-01249-6 (accessed 20 July 2026).
- 6) Khazaeni B, Zeppieri M, Khazaeni L. 2026. Acute angle-closure glaucoma. In: *StatPearls [Internet]* updated 10 January 2026. URL: www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK430857/

^{B)} Data Sheets and Consumer Medicine Information <https://www.medsafe.govt.nz/DbSearch/InfoSearch>

^{C)} 111822, 114103, NZ-Medsafe-158750 [ニュージーランドファーマコビジランス・データベースの検索システムSMARS (Suspected Medicine Adverse Reaction Search) <https://www.medsafe.govt.nz/SMARS/Default> の参照用症例番号 (訳注)]

^{D)} NZ-Medsafe-155052

^{E)} 149093

(accessed 6 August 2026).

- 7) Health New Zealand Te Whatu Ora. 2026. *Dry eyes* 22 July 2026.

URL: www.healthnz.govt.nz/health-topics/conditions-treatments/eyes/dry-eyes#symptoms-of-dry-eyes-6009 (accessed 27 July 2026).

- 8) Takeda New Zealand Limited. 2026. *Vyvanse Capsules New Zealand Consumer Medicine Information* June 2026.

URL: www.medsafe.govt.nz/consumers/CMI/v/vyvanse.pdf (accessed 20 July 2026).

◆関連する NIHS 医薬品安全性情報

【NZ Medsafe】

[Vol.23 No.24 \(2025/11/20\)](#) R02

「ADHD治療薬:成人での使用の安全性に関する注意喚起」

[Vol.22 No.09 \(2024/04/25\)](#) R01

「Lisdexamfetamine: ADHD治療を適応とする精神刺激薬」

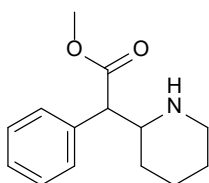
薬剤情報

◎Methylphenidate [メチルフェニデート塩酸塩, Methylphenidate Hydrochloride, ドパミン・ノルアドレナリン再取り込み阻害作用, AD/HD治療薬] 国内: 発売済 海外: 発売済

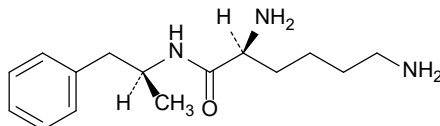
◎Lisdexamfetamine [リスデキサンフェタミンメシル酸塩, Lisdexamfetamine Mesilate, ドパミン・ノルアドレナリン再取り込み阻害・遊離促進作用, AD/HD治療薬] 国内: 発売済 海外: 発売済

※Lisdexamfetamineは, dexamfetamineにL-リシンが共有結合したプロドラッグである。

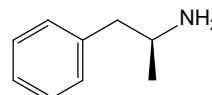
◎Dexamfetamine [ドパミン・ノルアドレナリン再取り込み阻害・遊離促進作用, AD/HD治療薬] 海外: 発売済



Methylphenidate



Lisdexamfetamine



Dexamfetamine

以上

連絡先

医薬安全科学部第一室：青木 良子